

水消火器を体験する子どもたち＝三島市の南小



不要品持ち寄り 体験参加で交換

三島市の南小に通う児童の父親らでつくる「おやじの会」は21日、防災イベント「イザーカエルキャラバン」を同校で開いた。子どもたちがおもちゃを交換しながら、楽しく防災知識を身につけた。

防災知識 おもちゃもゲット！

三島南小でイベント

子どもたちは不要になったおもちゃを持ち寄り「カエルポイント」に交換。水消火器の的当てやバケツリレーなど防災プログラムに参加してもらったポイントも使い、新たなおもちゃを手に入れた。毛布を担架に見立ててカエルのぬいぐるみを運んだり、火災時の煙の充満を疑似体験したりもした。

同イベントは、阪神淡路大震災の教訓を後世に伝えるため楽しく防災を学ぼうと毎年実施している。

(三島支局・岡田拓也)

毛布で担架をつくり、ぬいぐるみを運ぶ参加者

